

愛知県避難所運営マニュアルの改訂について

1 背景及び目的

東日本大震災を教訓として、平成 25 年の災害対策基本法の改正や「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針(内閣府)」等により、避難所の生活環境の整備や、避難所以外の場所に滞在する被災者への支援、女性の視点を取り入れた運営等が求められている。

県では、市町村の円滑な避難所運営に資するため愛知県避難所運営マニュアルを作成し提示しているが、平成 18 年以降見直しを行っていないため、このたび、東日本大震災の被災地(宮城県多賀城市)で避難所運営支援に携わった県職員の経験も踏まえ、「愛知県避難所運営マニュアル」を全面的に改訂する。

2 検討の経緯

(1) 検討会議の開催

学識者や東日本大震災等で被災地域を支援した NPO、市町村、要配慮者対策関係の庁内各課室・諸団体、被災地域支援に従事した県職員等からなる愛知県避難所運営マニュアルの改正に係る検討会議により検討。

(2) 意見照会の実施

県内各市町村、要配慮者関係団体、県庁関係課に意見照会。

3 特徴及び内容

(1) 全体の特徴

- ・ 災害時の使いやすさを重視し、従来のマニュアルを、災害時の対応をまとめた「マニュアル」と、平常時の対策・取組をまとめた「手引き」の大きく 2 つに分割。
- ・ 避難所の運営に携わる人々(市町村職員、施設管理者、地域住民等)の見やすさを重視し、文字サイズを大きくしたほか、イラストや写真の追加や、なるべく 1 項目 1 ページにおさめるなど工夫。

(2) マニュアル、手引きごとの特徴及び内容

名称	愛知県避難所運営マニュアル	愛知県避難所運営マニュアル活用の手引き みんなで考えよう！避難所のこと
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発災直後から避難所閉鎖までの全期間に必要な事項を、時系列に整理。 ・ 手順をチェックリスト化し、適切に開設・運営ができているか確認可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村が地域住民と協働し、避難所を軸とした防災・減災の地域づくりを行うためのテキストとして活用可能。 ・ 避難所となる施設ごとに運営検討を進める手順や訓練の実施方法を整理。
改正・作成のポイント	<p><被災地域支援に従事した県職員の意見を反映></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員が派遣された避難所のマニュアルを参考に業務を追加 総合窓口の設置(総務班 p. 2~)、余震等災害時の対応(総務班 p. 9)等 ・ 避難所内のレイアウト例や写真の追加(資料集 p. 5, 6) <p><法改正や国の指針を踏まえた改正></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要配慮者対策の充実 要配慮者支援班の設置(要配慮者支援班)、具体的な配慮方法等資料の追加(資料集 p. 7~)等 ・ 避難所の良好な生活環境の確保 トイレ(資料集 p. 14~)や心のケア対策(資料集 p. 20~)等資料の追加 ・ 避難所以外の場所に滞在する被災者への支援 在宅支援者等支援施設の設置(本編 p. 15)等 ・ 女性の視点の追加 運営への女性の参画(本編 p. 22)、女性や子どもへの暴力防止対策(要配慮者支援班 p. 8)等の追加等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村が地域住民との協働の場で活用しやすいよう、平易な言葉づかいを使用した ・ 地域住民の意識を高めるため、防災を自分事ととらえる個人の視点から地域全体で防災に取り組むまで、地域の状況に合わせて活用できる構成とした <p><主な内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所の共通認識(p. 1) 避難所に関する基礎知識の付与 ・ 地域の危険な場所を調べよう(p. 6) 防災マップや過去の災害を確認 ・ 地域で集まる「場」をつくろう(p. 10) 地域の防災活動などへの参加 ・ 避難所のこと、やってみる?(p. 15) HUG等避難所運営のイメージづくり ・ 避難所の運営を考えよう(p. 23) 県マニュアルを用いた具体的検討 ・ 避難所運営にチャレンジ!(p. 35) 避難所開設・運営訓練の実践